

こども施策で 人口増・経済好循環

～決断すれば実現可能～

明石市長 泉 房穂
(元衆議院議員・弁護士・社会福祉士)



本日、お伝えしたいこと

1. こどもを応援すれば みんな幸せ

～明石のまちの好循環～

2. 必要な5つのポイント

- | | | | |
|------|-----|------|-----|
| ① 発想 | の転換 | ② 組織 | の連携 |
| ③ 予算 | の倍増 | ④ ひと | の育成 |
| ⑤ 地域 | の協力 | | |

3. すべてのこどもたちへの支援を

～今こそ、決断のとき～

明石のまちの好循環



明石市の概要



時のまち

子午線上に建つ
明石市立天文科学館



海のまち

明石鯛
明石焼



歴史のまち

人口	約30万人
面積	約50km ²



世界最大級の明石海峡大橋



明石城はさくらの名所

4

まちの好循環の流れ

- ① **施策** 子育て支援 5つの無料化 など
 - ② **安心** 子育てしやすいまち
 - ③ **人口** 9年連続人口増
 - ④ **にぎわい** 地域経済 過去最高益
 - ⑤ **財源** 税収増で 持続可能な財政運営
- ① さらなる **施策** 高齢者、障害者施策の充実化も
- ② さらなる **安心** すべての人にやさしいまち

5

① **施策(1)** 明石市独自の**5つの無料化**

- 1 **医療費** 18才までの全員
- 2 **保育料** 第2子以降の全員
- 3 **おむつ** 満1歳まで（宅配も）
- 4 **給食費** 中学生
- 5 **遊び場** 親子とも

すべて
所得制限
なし

すべて
自己負担
なし

6

① 施策(2) 寄り添う支援 明石発!全国初!の施策

1 養育費 の立替払



2 親子の面会交流支援



3 無戸籍児 支援



4 児童扶養手当の毎月支給



5 こども食堂 全小学校区で開設



6 児童相談所 の改革



7

見守り・相談で
不安を解消

0歳児 見守り訪問



子育て経験のある
配達員が

毎月、家庭に
直接お届け



ミルクや
子育て用品も
選べます

・経済的な

負担も軽減

0歳児家庭の見守り



妊娠

母子健康手帳交付時、すべての妊婦と面談

誕生～2か月

保健師などが、すべての家庭を訪問

4か月

4か月児健康診査 未受診者家庭の訪問も

3か月～1歳

おむつ定期便  コープこうべと連携協力



8

1 明石市独自の養育費立替（公的立替）



子どものために
安定した養育費を



2020年 7月～

子どもの養育費
1か月分
(月5万円まで)

- ・市の立替前に支払あり 3件 (子ども4人)
- ・市が立替後に支払あり 7件 (子ども11人)
- ・市が立替後、支払なし 8件 (子ども10人)

市が支払督促、
不払いのとき

市が立替 回収

- ・差押え支援も
- ・取決め支援も

2022年 8月～

拡充

子どもの養育費
3か月分
(1月5万円まで)

9

2 明石市による面会交流のコーディネート



2016年 10月～

離れて暮らす親との交流を希望する子どものため

経験豊富なスタッフがサポート

父母それぞれと「事前面談」・「日程調整」のうえ、
当日の立会い(交流の場における付添い)などを実施

サポート
実績
(年度毎)

2016	8回
2017	42回
2018	64回
2019	57回
2020	50回
2021	74回

相手に会わずに
子どもが面会できる！
親の精神的な負担も
軽減された。

《利用者の声》

養育手帳を配布
子どもの情報を共有

子どもの安全が
守られていて
安心！



累計約300回実施

10

3 無戸籍者 支援

▶ 支援体制の構築

無戸籍者総合支援コーディネーターの設置

▶ 総合的支援の実施

24時間
全国から
相談受付

無戸籍24時間相談ダイヤルの設置

戸籍を作るための
裁判所への申立費用の補助

▶ サポートナンバーカード 交付



11

4 児童扶養手当 の毎月支給

国では…

従来は 4か月に1度の まとめ支給

法改正で…

2019年11月から 2か月に1度の まとめ支給

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:児童扶養手当支給月

収入が安定
分割支給で
収入の波を平準化

こどもと親が
安定した生活を
送れるように

やりくり
しやすい

明石市は

希望者に **毎月無利子貸付金** として支給

●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○
●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○

● 貸付金 支給月



12

5 こども食堂 を全28小学校区 46か所で開設

すべてのこどもが気軽に立ち寄る ことができる



・ 地域みんなの居場所



・ 気づきの拠点



あかし
こども財団と
連携



13

6 児童相談所の改革

- 自治体として9年ぶりに設置
- 市内中央 JR駅前の一等地に開設
- 子育て支援センターも併設

・ 常勤弁護士も複数配置



→ 日々のケースワークに携わることが重要

・ 一時保護所も同時整備



・ 里親センターも併設

・ 定員30名 人口比にして東京の7倍

・ 学校現場と連携して保護中も小中学校に通学可能

・ 一時保護の第三者チェック



2021年開始

こどものための第三者委員会



14

7 大学の 学費 の立替払8 高校進学への 給付型 奨学金9 ひとり親家庭に さらに5万円10 すべてのこどもへの10万円11 生理用品 の無料配布

15

7

学費を すぐに100万円

前期分の 学費全額 を肩代り (上限100万円まで)前期分だけで
概ね50~60万円
は必要

- ・学校と直接交渉し **直接振込**
- ・**所得制限なし** の本人支援

看護系は
90万円超も!

無利息・保証人不要



《 実績 》

- ・申請件数 **122 件**
- ・貸付総額 **約6千万 円**
- ・実施期間 **5月1日** ~ 7月31日

《 対象者 》

市内から通学している学生
(大学、大学院、短期大学、
高等専門学校、専門学校、
定時制・通信制の高等学校 など)

16

8 高校進学への奨学金



2020年度

募集 30人 ↗ 応募 121人 → 奨学生 110人

2021年度

募集 100人 ↗ 応募 222人 → 奨学生 200人



- ① 入学準備金 30万円 
- ② 在学時支援金 毎月1万円を原則3年間 36万円 
- ③ 高校入試に向けた 学習支援 週2回 進路、生活面の相談も
- ④ 進学後の 学校生活支援 専門の相談役(チューター)がサポート

9 ひとり親に さらに5万円



2020年

1回目

4月議会 明石市独自 5万円

6月議会 国の支援策 5万円

2回目

12月議会 明石市独自 5万円

国支援策

5万円



離婚

家庭等の子どもにも

(市独自での立替払・働きかけ・回収も)

所得制限

以上の家庭の子どもにも

お腹の赤ちゃんにも

19

ひとりで悩まないで

生理用品の購入に
困っている方へ

▶ 無料配布のみならず
相談・総合支援も

▶ 備蓄配布に加え 新規購入、
通年継続事業に

対象 明石市在住の人・市内学校の通学者

お渡し場所

一般・学生 あかし男女共同参画センター

学生 すべての市立小・中・高・養護学校トイレ

AKASHIユーススペース



ひとりで悩んで
いませんか

一緒に考え
サポートします



生理用品を買うのに困っている方にお配りしています。
窓口にこのカードをお持ちください。詳しくは、裏面で

20

① 施策(4)

環境の整備

～ 質も量も拡充 ～

1 少人数学級

小学校1年生は30人学級 (2016年～)



中学校も35人学級へ (2021年4月から段階的に実施)



小中一貫校は全学年30人学級に (2021年4月～)



2 学童保育

指導員の半数以上が教員免許あり



市独自で認定資格の研修を実施

3 保育所整備

6年間で5,900人の受入枠増 (2016年の2.3倍)

21

虐待防止・社会的養育の充実

・全国で9年ぶり
・国基準の2倍の職員を配置

早期の気づきと支援

児童相談所の新設

あかし里親100%プロエト

全国初

見守りおむつ宅配便

・アウトリーチ支援

・妊娠期から子どもを支援

妊娠全数面接

・子どもの健康を100%確認

乳幼児全数面接

・全28小学校区に開設

あかし版こども食堂

子育てを応援

学びを応援

中学校給食の無償化

・食育、地産地消
・アレルギー対応なども

30人学級の導入

本のまちの推進

・まずは小学校1年生から

・駅前に図書館新設

・ブックスタート
&ブックセカンド(県内初)

・所得制限なし
・所得制限なし
・中核市規模では
全国初

高校生までの医療費無料化

第2子以降の保育料無料化

大型遊具を備えた

「あかしこども広場」

・入場料無料の駅前施設

寄り添う支援

離婚前後の養育支援

全国初

児童扶養手当の実質毎月支給

全国初

無戸籍者支援

全国初

子どもの未来 は 社会の未来

22

明石のまちの好循環



23

2 安心 市民満足度が 大きく上昇

91.2%
の市民が
住みやすい



住んでいる地域が
住みやすいと回答した人の割合

※まちづくり市民意識調査から(2019年実施)

子育てるなら
やっぱり明石



1位 子育て環境の充実

2位 本のまちの推進

3位 良好な
都市環境の整備



全国戻りたい街ランキング 2021	
1位	明石市(兵庫県)
2位	福岡市(福岡県)
3位	三豊市(香川県)
4位	太宰府市(福岡県)
5位	松本市(長野県)
6位	札幌市(北海道)
7位	糸島市(福岡県)
8位	流山市(千葉県)
9位	逗子市(神奈川県)
10位	西宮市(兵庫県)
11位	港区(東京都)
12位	草津市(滋賀県)
13位	目黒区(東京都)
14位	藤沢市(神奈川県)
15位	芦屋市(兵庫県)
16位	石垣市(沖縄県)

□中核市
□政令指定都市
□特例市

※2021年10月発表。米ウェブマガジンが運営する地域比較サイト「生活ガイド Japan」で、生まれ育った街と住んでいる街の比較検討が盛り込まれていて、実際に生まれ育った街を測定している人の割合をランキング。2019年10月1日～2021年10月4日にログインした会員2573人が対象。

参議院 こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会 令和7年11月28日 立憲民主・社民・無所属 泉房穂

出典：参議院 内閣委員会 2022年（令和4年）6月7日 参考人提出資料

24

3 人口

人口9年連続増

30万人突破
+13,000人

過去最多を
更新中

子育て層が大幅増

25~34歳と
0~4歳の
転入超過

出生率

1.50
(2011)
国 1.39

1.70
(2018)
国 1.42

1.62
(2020)
国 1.33

明石市の総人口
各年10月1日

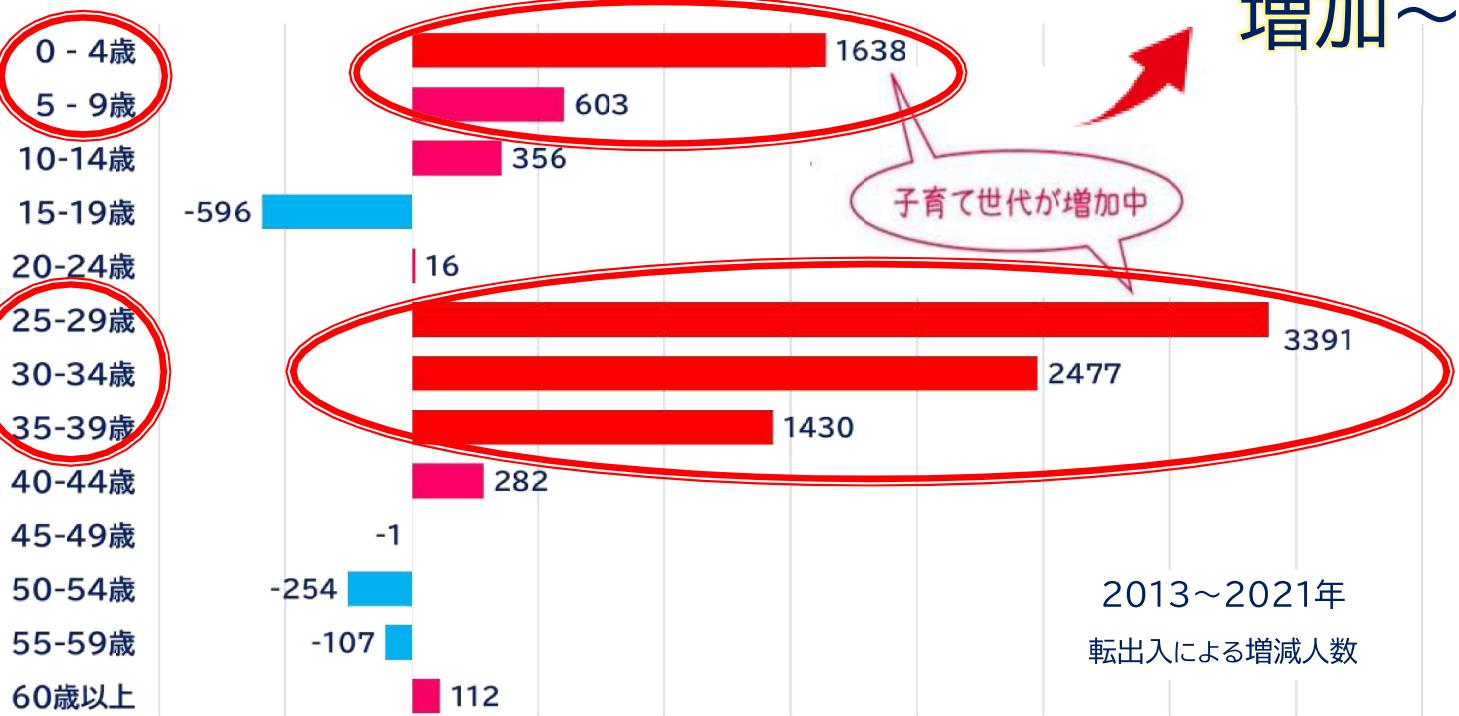
290959 290856 290657 290909 291357 293409 293710 295908 297920 299094 303601

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021



明石市の社会動態

～子育て層が大幅に
増加～



にぎわい

にぎわい

明石駅南側の
人通りが急増



多くの人が行き交う明石駅前

地域経済

過去最高益！

2016年全面リニューアル
図書館、子育て施設や
新店舗もオープン
まちが明るく
生まれ変わりました

駅南への新規出店が**2倍超**
地価は**7年連続**で上昇*

➤ 来訪者

1.7倍 増加19,650人 → 33,115人
(2015) (2018)

➤ 新規出店

2.4倍 達成目標/年12店 → 実績/年**29**店
(2015) (2020)

27

財源

持続可能な自治体運営

未来に
つなぐ
都市経営

発想の
転換

＼使い道を大胆に変更／

税収増加+予算のシフトで財源確保へ

税収 増えています！

主要税収入*が**8年で
32億円増**



(*個人市民税、固定資産税、都市計画税の合計額 / 2020年度)

貯金 増えています！

基金残高が
121億円に
(2021年度見込)

70億円

(2010年度)

コロナ禍でも
9億円の増
(2021年度見込)



(*財政基金、減債基金、特別会計等財政健全化基金の合計額)

借金 減っています！

実質公債費比率 2.8%

(2018年度実績)

自由に使えるお金のうち
借金の返済に使うお金
の割合が小さい

県内
29市中
1位



好循環の拡大



さらなる施策の充実へ



28

1 さらなる 施策 やさしい社会を明石から

高齢者	認知症になっても 安心して暮らせるまちづくり	みんなで 安心 支える 寄り添う 認知症 あんしんプロジェクト	認知症 後見支援 後見基金
障害者	手話言語・障害者 コミュニケーション条例	全国初	全国初
障害者配慮条例 全国初 合理的配慮の提供を支援する 公的助成制度スタート	旧優生保護法被害者 支援条例	全国初	あかし インクルーシブ条例
犯罪被害者	立替支援金制度、再提訴費用補助、特例給付金制度	全国初	全国初
更生支援	更生支援等条例	全国初	全国初
LGBTQ+	パートナーシップ・ファミリーシップ制度	全国初	全国初

29

2 さらなる 安心 すべての人にやさしいまち

誰ひとり置き去りにしない
インクルーシブ社会へ

明石のまちが目指す
インクルーシブなまちは
これ

× ① **排除**
exclusion
少数者を多数者の
集団から外す考え方

× ② **分離**
segregation
多数者と少数者を
別々にする考え方

× ③ **統合**
integration
多数者と少数者が
分かれた状態で
同じ環境にいる

④ 共生
inclusion

障害の有無、性別、年齢、
国籍などに関係なく
お互いに支え合いながら
誰もが暮らしやすいまちを
つくること

こども 高齢者

LGBTQ+ 障害者

ひきこもり 犯罪被害者・更生支援

先導的
共生社会ホストタウン

SDGs 未来都市

全国初
県内初

30

必要な 5つのポイント

- 1 発想の転換 こども を応援すれば みんな 幸せ
- 2 組織の連携 ヨコ の連携も タテ の連携も
- 3 予算の倍増 救貧 施策も 未来 施策も
- 4 ひとの育成 数も 質も
- 5 地域の協力 共助 も 公助 も

31

明石市では

- 1 発想の転換 こどもを核としたまちづくり
- 2 組織の連携 こども未来部の創設(市長就任の翌年に)
- 3 予算の倍増 こども予算2倍増(126億円→258億円)
- 4 ひとの育成 担当職員3倍増、弁護士職員12名採用
- 5 地域の協力 全小学校区にこども食堂と里親家庭

32

1 発想の転換 こどもを核としたまちづくり

(対象)

すべての子どもたちを

誰一人として見捨てない ⇔ ~~×~~ 貧困家庭限定

(主体)

まちのみんなで

行政や地域や市民みんな ⇔ ~~×~~ 親だけに責任

(程度)

本気で応援すれば

あれもこれも全部やる ⇔ ~~×~~ 予算の範囲内

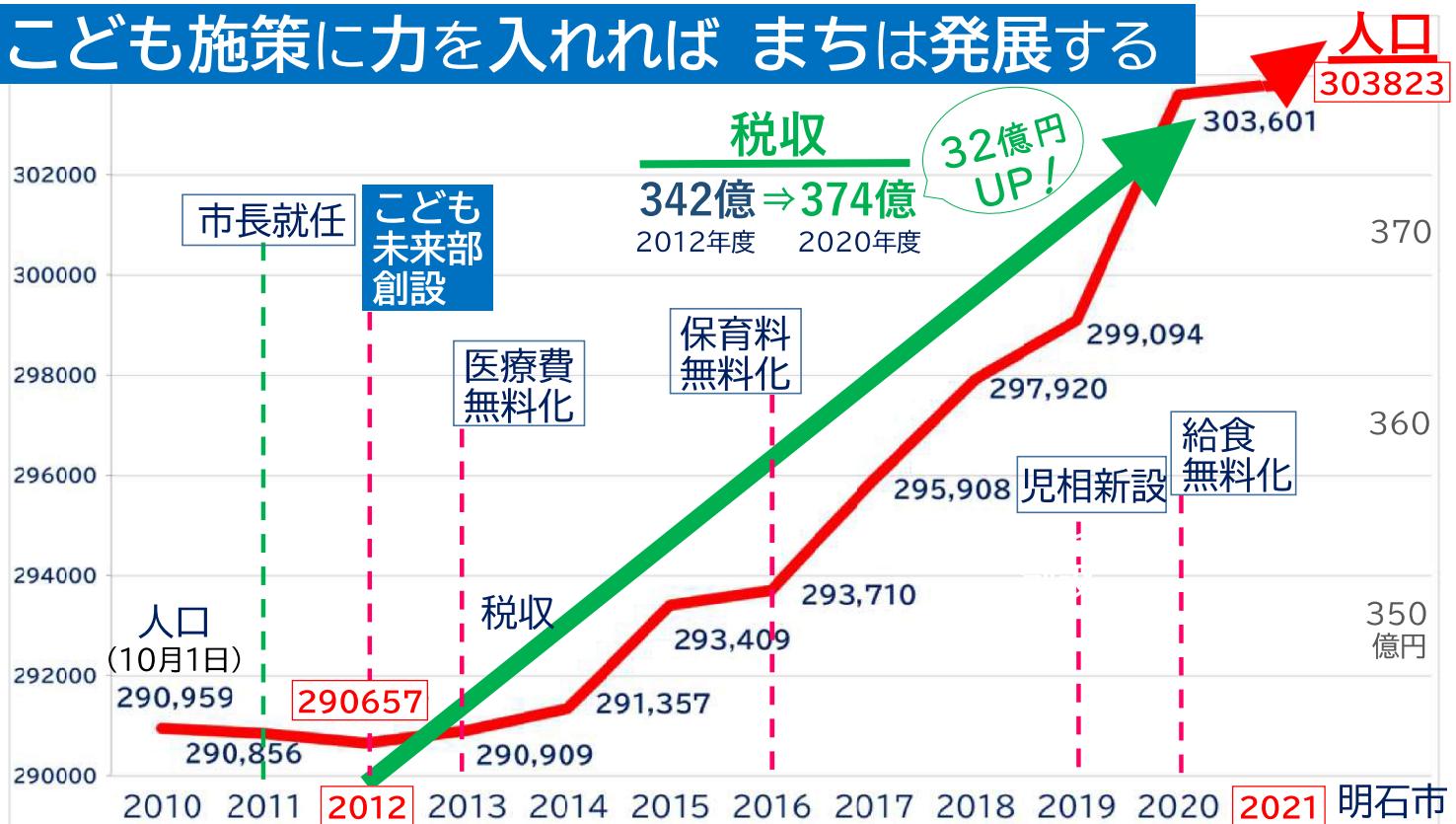
(効果)

まちのみんなが幸せになる

まちの好循環 ⇔ ~~×~~ 社会の分断

33

こども施策に力を入れれば まちは発展する



2 組織の連携 ヨコ の連携も タテ の連携も

明石市の取組

～ すべては組織再編から ～

2011年 明石市長に就任

2012年 こども未来部 創設 (まずは組織再編から)

(幼稚園や図書館などに関する権限も一元化)

2013年 5つの無料化施策 (医療費無償化から段階的に) スタート

2014年 乳幼児全員面接や養育費取決支援スタート



2019年 こども局 創設 (児童相談所の新設にあわせて)

2020年 見守りおむつ宅配便や中学校給食無料化スタート

35

明石市独自の取り組み

～ 所管省庁がまたがっている分野 でも 施策実現 ～

公立幼稚園 園内に民間保育所の分園を開設 《 厚労省と文科省 》

公立小学校 学校の敷地内で地域の子ども食堂を開催 《 同上 》

児童相談所 一時保護所から小中学校への通学実現 《 同上 》

再犯防止・更生支援 条例の制定、支援の実施 《 厚労省と法務省 》

無戸籍児 戸籍取得のための司法手続支援 《 同上 》

養育費 立替制度創設 面会交流 付添い支援 《 同上 》

36

地方から見た こども行政の課題

1. ヨコの課題 ⇒ 縦割り行政

所管省庁がまたがる分野 ⇒ **連携**の問題

所管省庁が不明確な分野 ⇒ いわゆる**谷間**の問題

2. タテの課題 ⇒ 国・県・市の役割 方針・権限・財源・責任

方針が異なる分野 ⇒ **予算の確保**などが困難

権限が不十分な分野 ⇒ **実効性**ある施策推進が困難

37

1. ヨコの課題 ⇒ 縦割り行政 (所管省庁がまたがる分野)

(1) 未就学児の居場所

保育所(厚労省)、幼稚園(文科省)、認定こども園(内閣府)

幼保無償化(財務省・総務省)

(2) 小学生の放課後の居場所

放課後児童クラブ(厚労省)、放課後子ども教室(文科省)

指導員の配置基準(内閣府・総務省)

(3) 児童虐待の防止

児童相談所・里親(厚労省)、不登校・いじめ(文科省)

DV対策(内閣府)、非行・強制介入(警察庁)

司法審査(法務省・裁判所)、児童相談所の中核市必置化(総務省)

研修センターの開設費用(財務省)

38

《現状》 縦割り行政

関係機関の連携だけでは不十分

⇒ こども施策を全体的に所管する省庁が必要



39

《将来像》 今こそ こども省(こども家庭庁) の創設を



- ▶ 国会にも こども委員会 を新設し、
必要な法整備と大幅な予算の拡充を
- ▶ こども裁判所 も新設し、
養育費や面会交流、児童相談所の司法審査などにも対応

40

2 タテの課題 ⇒ 国・県・市の役割

子ども施策に関する課題 (方針・権限・財源・責任の齟齬)

(1) 子育て世帯の経済的負担の軽減

子ども医療費の無料化に対する 国の減額措置 (嫌がらせ)

国の幼保無償化の財源確保に際しての 地方負担 (押しつけ)

(2) 教育環境の充実化・適正化

市独自の少人数学級化に際しての 教員確保 (教員採用は県の権限)

小中学校での不祥事に対する 毅然とした対応 (教員処分は県の権限)

(3) こども食堂や里親に関する施策の推進

保健所との調整や情報共有化 (明石市は中核市移行で解決)

41

国・県・市の役割の見直し

《現状》

《将来像》

こども施策の貧困

国 (方針不明確、財源不十分)

都道府県 (国の言いなり)

市町村 (国民ニーズとの板ばさみ)

国民 (こどもファースト)

こどもファーストの政治へ

国民
(こどもファースト)

市町村
(権限をもち責任を果たす)

都道府県
(市町村への応援)

国 (こどもファーストの方針
十分な財源の確保)

42

3 予算の倍増 救貧 施策も 未来 施策も

国 / こどもへの予算

少なくとも
2倍増を

明石市では

時代に応じて 重点分野に



43

1 施策

明石市独自の 5つの 無料化

1 医療費

2013年～ 中学生まで 完全無料

2021年～ 高校生まで 完全無料

16.3億円

2 保育料

2016年～ 第2子以降 完全無料

2019年～ 副食費も 完全無料

11.5億円

3 おむつ

2020年～ 満1歳まで無料 (宅配も)

1.2億円

4 給食費

2016年～ 中学校給食の実施

2020年～ 中学校給食費の無料化

3.4億円

5 遊び場

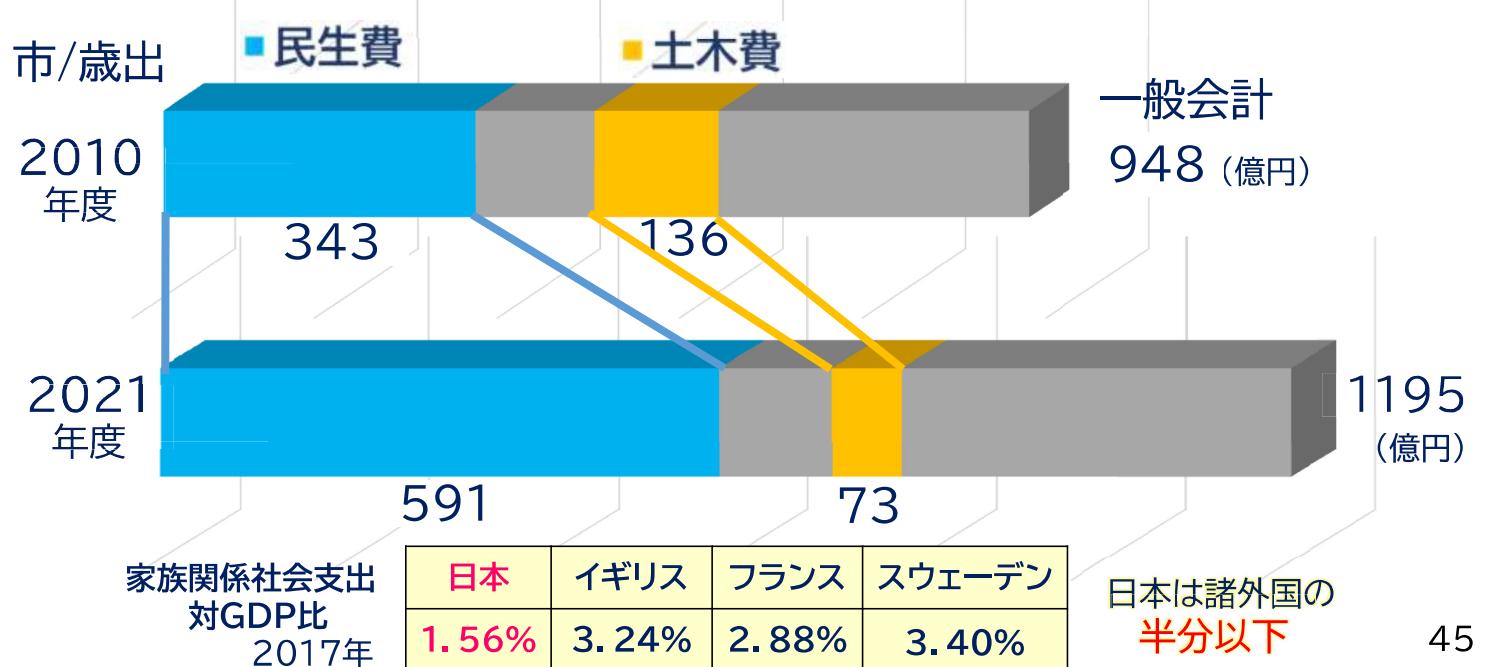
2013年～ 市民プールなど 利用料無料

2017年～ 大型遊具もある施設を 親子とも無料

1.4億円

44

明石市では 予算のシフト ～ 民生費7割増 土木費半減 ～



子ども医療費 無料化の拡がり 18歳まで 所得制限なし

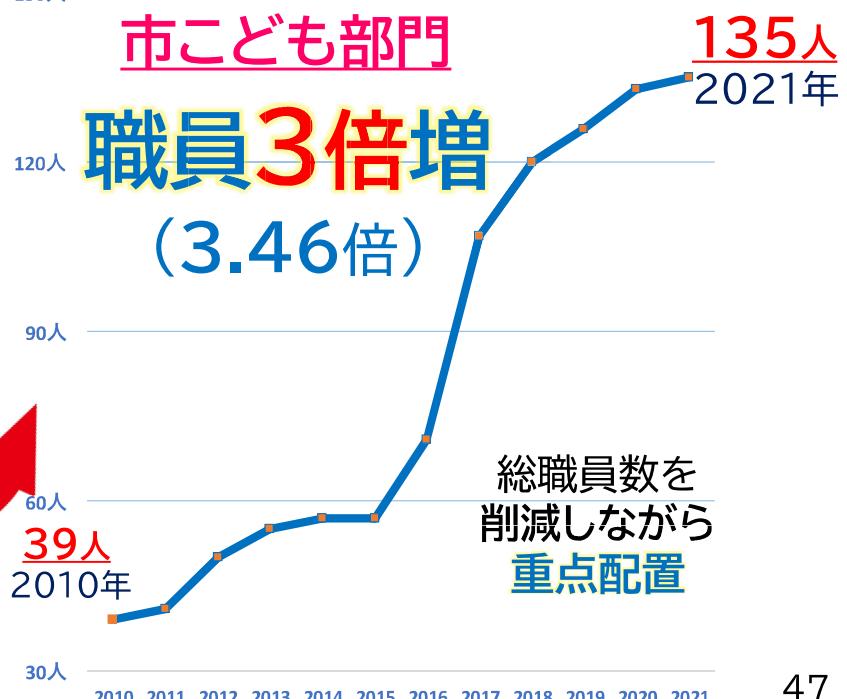


4 ひとの育成 数も質も

国 / こども家庭庁

- ▶ 移管する内閣府
厚生労働省から
- ▶ 地方自治体、民間企業から
⇒ 300人超を目指す

市こども部門



明石市では

適時・適材・適所の
組織編成

47

専門職採用

各専門職団体の協力を得て
全国から公募

弁護士 12名

福祉職 ほか 計76名

1

市民に一番近いところで
他の専門職や行政職と連携し、アウト
リーチを積極的に行ってています。

▶ 常勤・正規で

▶ 職種ごとに複数採用

▶ 一般行政職の仕事もする

2

全国に先駆けた施策を
全国初の取り組みを進める中心的役割を
果たしています。

3

幅広い部署で
政策・福祉・教育部門など幅広い部署に
配属されます。



自治体として9年ぶりの児童相談所

職員数 は国基準の**2倍** 以上で開設



	児童福祉司	児童心理司	保健師	弁護士(常勤)	児童指導員
2019年 4月1日 開設時	18人	8人	4人	2人	20人
国の基準	8人	4人	1人	弁護士の配置又は これに準ずる措置	6人

さらに 医師・教職員・元警察官・看護師助産師、家庭児童相談員等も配置

現在の市児相	27人	11人	6人	2人	22人
--------	-----	-----	----	----	-----

49

子どもに寄り添うのは“人”

全国の子ども支援人材を育成



西日本こども研修センターあかし
National Training Center for Prevention of Child Abuse and Neglect



全国の子ども虐待防止に関わる関係機関などで主に指導的立場にあたる職員を対象に高度専門的な研修を実施しています。

子どもの権利条約の理念
を基本に

全国の弁護士も
自治体職員も養成



コロナ禍では、オンライン研修を展開。今年度は、全国7ブロックに出向いて研修を行う予定です。

明石で育て
全国へ広げる

5 地域の協力 共助も公助も

明石の魅力を戦略的にシティセールス

広報あかし 月2回、毎号で特集記事

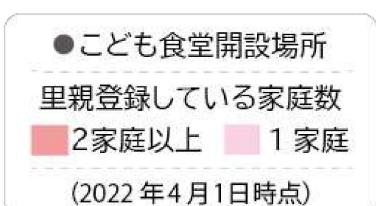


市民への
ラブレター

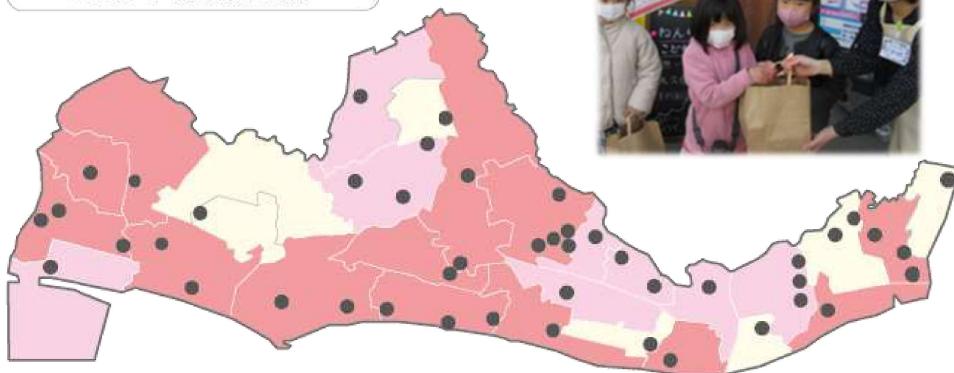


51

こども食堂 を全28小学校区 46か所で開設



地域の
協力で



里親100% プロジェクトも実施中

52

必要な 5つのポイント

- 1 発想の転換 こども を応援すれば みんな 幸せ
- 2 組織の連携 ヨコ の連携も タテ の連携も
- 3 予算の倍増 救貧 施策も 未来 施策も
- 4 ひとの育成 数も 質も
- 5 地域の協力 共助 も 公助 も

53

5つの提案

- 1 発想の転換 こどもファースト への 政治の転換を
- 2 組織の連携 こども家庭庁こそ 連携 が不可欠
- 3 予算の倍増 次年度から 予算倍増 、その後 3倍増 を
- 4 ひとの育成 医師並みの こども国家資格 の創設を
- 5 地域の協力 地域ボランティアへの 公的助成 を

54

すべてのこどもたちへの支援を

1. 所得制限の撤廃を

こどもは 親の持ち物ではない

2. 誰ひとり取り残さない

子どもの貧困は 政治の貧困

3. 子どもの声を聴く

子どもの幸せは、こどもが決める

55

1. 所得制限の撤廃を

1 こども は こども (親の持ち物ではない)

所得制限をかけるなら、こども本人を基準に

2 所得制限を撤廃すれば、出生率 もあがる

子育て罰社会から、出産しても大丈夫な社会へ

3 所得制限を撤廃すれば、経済 もよくなる

中間層に光をあててこそ、地域経済がまわり始める

4 こども施策は、未来 施策 (救貧施策とは別)

すべての子どもの未来を応援 (分断しない)

56

2. 誰ひとり取り残さない

1 こどもはみんな、**まちのこども**

こどもは 親も時代も選べない

2 こどもが **泣かなくていい**社会を

① こどもが泣いているのに、気づかない時代（昔）

② 気づいているのに、気にしない時代（少し前）

③ 気にして、何とかしようしている時代（今）

④ こどもが泣かなくていい時代（こども家庭庁発足後）

57

3. こどもの声を聴く

1 こどもの幸せは、こどもが決める

子どもの人生の主人公は、そのこども自身

2 こどもに会う

① こどもスマイル**100%**プロジェクト



すべての**健診**でこども本人と必ず会う

(会えなければ、手当の振込停止も)

② 一時保護直後の**全員**面談



第三者委員（児相職員とは別）が 必ず話を聴く

58

本日、お伝えしたいこと

1. こどもを応援 すれば みんな幸せ

～ 明石のまちの好循環 ～

2. 必要な 5 つのポイント

- | | | | |
|------|-----|------|-----|
| ① 発想 | の転換 | ② 組織 | の連携 |
| ③ 予算 | の倍増 | ④ ひと | の育成 |
| ⑤ 地域 | の協力 | | |

3. すべてのこどもたちへの支援を

～ 今こそ、決断のとき ～

59

さいごに

こどもの未来は 私たち自身 の未来

こどもの未来は 日本社会 の未来



60

～プロフィール～ 泉 房穂 いづみ ふさほ

- ▶ 1963年 明石生まれ
漁師の長男として誕生



東大在学中は
駒場寮の寮長



障害のある家族がいたこともあり
幼いころから福祉に目覚める

- ▶ 元 NHKディレクター



民放移籍後
「朝まで生テレビ」なども担当



その後 石井こうき衆議院議員の
秘書となる

石井氏の勧めもあり
世のため、人のため弁護士に



- ▶ 2003年～2005年 衆議院議員
超党派での議員立法に奔走



- ▶ その後 明石で庶民派弁護士として活動
社会福祉士の資格も取得



- ▶ 2011年 明石市長選挙
69票差で初当選



得票率7割で再選 現在3期目



子どものまちの
つくり方
明石市の現状



泉 房穂

日本全国どのまちでもできる
みんなが
幸せになる
まちのモデル

手話検定2級、柔道3段、明石タコ検定初代達人、ベストファーザー賞in関西 受賞

参議院 こども・子育て・若者活躍に関する特別委員会 令和7年11月28日 立憲民主・社民・無所属 泉房穂

出典：参議院 内閣委員会 2022年（令和4年）6月7日 参考人提出資料